

平成30年2月19日

報道各位

敦賀市都市整備部新幹線整備課

北陸新幹線敦賀駅舎デザイン推薦案の決定について（お知らせ）

新たに建設される新幹線敦賀駅舎のデザイン推薦案について、将来の敦賀を担う子どもたちをはじめとした多くの市民等の皆様方からいただいた貴重な御意見を踏まえ、下記のとおり決定し、本日、鉄道建設・運輸施設整備支援機構へデザイン推薦案を回答いたします。

記

- 1 本市が推薦する新幹線敦賀駅舎デザイン案

「C案」

- 2 回答日時 平成30年2月19日（月） 午後4時30分～
- 3 相手方 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
大阪支社長 た で め ま よ し ま さ
蓼 沼 慶 正
- 4 回答者 敦賀市長 渕上 隆信
- 5 その他 本市が要望したデザインコンセプト（H29.1.17）
「空にうかぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～」
- 6 添付資料 推薦書、報告書及びC案パースデータ

※ 回答時の写真データを希望の方は、新幹線整備課まで連絡ください

問合せ先
担当課 新幹線整備課
TEL 22-8242
(内線・386)
担当者 瀧口・坂口

推 薦 書

北陸新幹線敦賀駅のデザイン案

平成30年2月19日

敦 賀 市

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、敦賀市における新幹線整備の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

去る平成29年1月17日に、本市のデザインコンセプト「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅」を要望いたしましたところ、洗練された優劣つけがたい3案のデザインを御提案いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

新たに建設される新幹線敦賀駅舎につきましては、敦賀に降り立つ方々の玄関口として、また、敦賀市民にとっては街を象徴するシンボルとして、将来の発展を見据える上で、非常に重要な建築物であるという認識のもと、次世代を担う子どもたちを含む、多くの市民等から御意見を頂戴し、この度、一案を推薦することといたしました。

市民の想いを乗せた駅舎となるよう、今後とも御協力をお願い申し上げますとともに、付帯意見について最大限反映していただきますようお願い申し上げます。

平成30年2月19日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

大阪支社

支社長 蓼沼慶正 殿

敦賀市長 淵上隆信

推薦する新幹線敦賀駅舎デザイン案

「C案」

<推薦理由>

C案のデザインは、本市のデザインコンセプト「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」の“空にうかぶ”“自然”“港”を、特徴的な大屋根と、壁面の煌めきで見事に表現しており、卓越したデザインは市民アンケート等でも多くの賛同をいただきました。

また、新幹線敦賀駅舎の最大の特徴である高さを活かした大屋根の配置は、遠くから見てもすぐにわかるランドマークとなり、さらに、トップライトからの光は未来への道標となるよう期待が込められております。

本デザインの爽やかな波を表現した大海からゆりかもめが飛翔する姿が、「鉄道と港のまち敦賀」の輝かしい未来と重なり合いながら、歴史ある敦賀が更に発展することを願い、C案を推薦します。



<付帯意見>

新幹線駅舎に係る付帯意見として、次のとおり要望します。

- ・既存駅前広場側からの景観について、新幹線駅舎コンコース階の濃色系の色合いと敦賀駅交流施設オルパークとの色調については、十分配慮いただきたい
- ・トップライトを兼ねた屋根上のウィングについては、新幹線駅舎全体とのバランスに配慮し、ウィング自体の大きさや両端の高さなど最適な形状を御検討いただきたい
- ・ランドマークとして駅西側からの見え方にも配慮いただきたい
- ・敦賀をアピールできるような、コンコース（中央広場）のデザインに配慮いただきたい
- ・過ごしやすく常に快適な駅舎で、子どもたちや障害者、高齢者に優しい設備をお願いしたい
- ・内装は、高さを活かした開放感あるデザインを工夫いただき、駅舎内からの眺望や県産材等天然木材の活用にも配慮いただきたい
- ・外観及び内装の素材や色調について、これまでの駅周辺の景観に配慮いただき、敦賀駅全体が一体感のあるデザインとなるよう、御検討いただきたい

市民の意見を最大限取り入れた新幹線駅舎となるよう、施設や機能について協議及び調整をお願いします。



北陸新幹線敦賀駅のデザイン案について

報告書

敦 賀 市
平成 30 年 2 月 19 日

目 次

1	デザイン推薦案決定までのスケジュールについて	1
2	各デザイン案の特徴について	2
3	アンケート調査について	3
4	アンケート結果概要について	5
5	デザイン案A案の分析について	6
6	デザイン案B案の分析について	8
7	デザイン案C案の分析について	10
8	各委員会からの意見	12
9	敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会からの意見	12
10	まとめ	13

1 デザイン推薦案決定までのスケジュールについて

11月9日

- ・ 鉄道・運輸機構よりデザインコンセプトを踏まえたデザイン素案（駅外観パース）が3案示されました。
- ・ 敦賀市のホームページに掲載し、3案のデザイン素案に対する意見を伺いました。（12月3日まで 募集箱、メール、FAX等）

11月21日

- ・ 市民フォーラムを開催し、3案のデザイン素案に対する意見を伺いました。3案の説明は鉄道・運輸機構が行いました。また、駅周辺整備構想策定委員会及び市議会新幹線対策特別委員会の委員にも参加を呼びかけました。

11~12月

- ・ 校区に敦賀駅があり、「鉄道・港のまち 敦賀」や「新幹線開業に向けたまちづくり」を学習している敦賀南小学校及び気比中学校、また、敦賀工業高校建築システム科で出前講座を開催し、3案のデザイン素案に対する意見を児童・生徒から伺いました。
（敦賀南小学校 11月27日、敦賀工業高校 11月28日、気比中学校 12月5日）

12月2・3日

- ・ つるが鉄道フェスティバルで、3案のデザイン素案等の新幹線整備に係るブースを設置し、3案のデザイン素案に対する意見を伺いました。

12月12日

- ・ 駅周辺整備構想策定委員会及び市議会新幹線対策特別委員会で、市民フォーラム等で出た意見を報告し、3案のデザイン素案に対する意見を伺いました。

1月30日

- ・ 意見を踏まえ敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会において、デザイン推薦案を検討しました。

2月19日

- ・ 敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会の議論を踏まえ、敦賀市がデザイン案を決定し、市長から鉄道・運輸機構に、新幹線敦賀駅舎のデザイン案を推薦します。

3月～

- ・ 駅周辺整備構想策定委員会及び市議会新幹線対策特別委員会等にデザイン案の結果を報告します。

2 各デザイン案の特徴について

A 「未来航路へ出航する港街の駅」

北陸新幹線、敦賀駅デザイン案



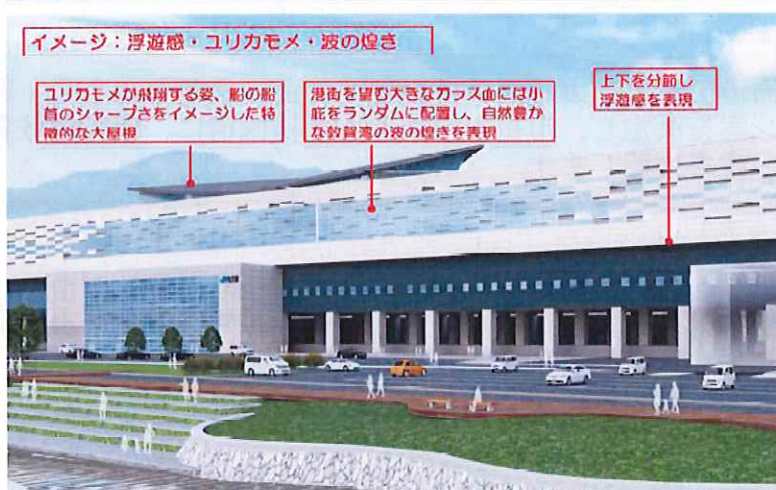
B 「爽やかな海風を受け帆走する駅」

北陸新幹線、敦賀駅デザイン案



C 「煌めく大海から未来へ飛翔する駅」

北陸新幹線、敦賀駅デザイン案



3 アンケート調査について

北陸新幹線駅舎デザインの検討にあたり、皆様から広くご意見を伺うため、以下の用紙を用いて、アンケートを実施しました。

北陸新幹線敦賀駅
“駅舎デザイン案”
に関するアンケート
『空にうかぶ ～自然に開かれ、港を望む駅～』

北陸新幹線の建設主体である鉄道・運輸機構より、敦賀駅駅舎デザインの提案(3案)を受けております。敦賀市では、駅舎デザインの検討を行っていくにあたり、市民のみなさまより、広くご意見をちょうだいし、駅舎デザイン提案案の選定に役立ててまいりたいと考えております。それぞれのデザイン案について、率直なご意見をお聞かせください。

「未来航路へ出航する港街の駅」
・敦賀港に寄港する船舶をモチーフにしたデザインとし、鉄道と港のまち敦賀が新たな未来航路へ出航する様子をイメージしています。
・船窓をモチーフとした円形窓と、船舶の煙突をイメージしたトップライトを設けることで、敦賀らしさの象徴である「港」を感じられるデザインとしています。

「爽やかな海風を受け航走する駅」
・敦賀湾に寄港していた北前船の帆が、爽やかな海風を受けてはらむ様子を表現したデザインとし、港街敦賀の歴史と豊かな自然を感じられる駅をイメージしています。
・中央の屋根には、敦賀湾の穏やかな波をイメージした大屋根を設け、壁面にリズムカクに配置した軌道とともに、軽快感、躍動感を感じられるデザインとしています。

「煌めく大海から未来へ飛翔する駅」
・壁面のガラス窓などをランダムに配置することによって敦賀湾の波の煌めきを表現したデザインとし、天然の良港である敦賀湾の豊かな自然を感じられる駅をイメージしています。
・中央の屋根には、市の鳥であるユリカモメが飛翔する姿や、船首のシャープさをイメージした特長的な大屋根を設け、自然豊かな敦賀のシンボルとなるデザインとしています。

※配列については順位を示すものではありません。

お問い合わせ
〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号 TEL:0770-22-8242 FAX:0770-23-4127
敦賀市役所 都市整備部 新幹線整備課 E-mail: shinkansen@tor21.ne.jp

裏面のアンケートにご協力ください▶

表面

新駅舎3案をご覧になった感想をお聞かせください

【A案】
「未来航路へ出航する港街の駅」

【印象】

【特に気に入った点】

【B案】
「爽やかな海風を受け航走する駅」

【印象】

【特に気に入った点】

【C案】
「煌めく大海から未来へ飛翔する駅」

【印象】

【特に気に入った点】

※配列については順位を示すものではありません。

【その他のご意見】

性別	☐ 男性	☐ 女性	居住地	☐ 敦賀市内	☐ 敦賀市外
年齢	～10代	・20代	・30代	・40代	・50代
					・60代
					・70代～

ご協力ありがとうございました。

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
敦賀市役所 都市整備部 新幹線整備課

裏面

1 募集期間 平成29年11月9日(木)から平成29年12月3日(日)まで
25日間

2 回収枚数 合計 802 枚

【内訳】

・市民フォーラム(11月21日開催)

69枚



- ・ 南小学校出前講座（11月27日開催） 5・6年生 116枚



- ・ 敦賀工業高校出前講座（11月28日開催） 建築システム科2年生 30枚



- ・ つるが鉄道フェスティバル（12月2・3日開催） 191枚



※ブラレールで
上下乗換を表現

- ・ 気比中学校出前講座（12月5日開催） 1・2年生 254枚



- ・ 募集箱及びメール等 142枚

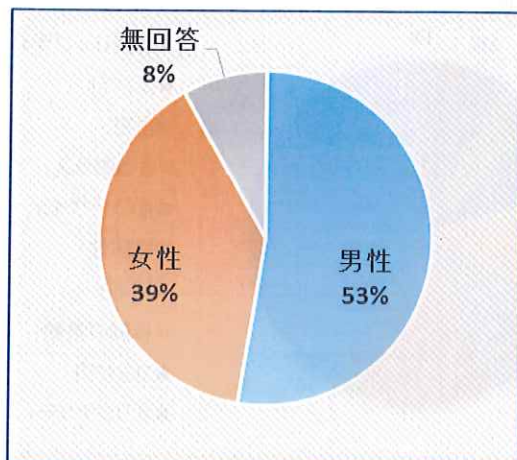
（※敦賀高校からもご協力いただきました）



4 アンケート結果概要について

(1) 基本情報の集計

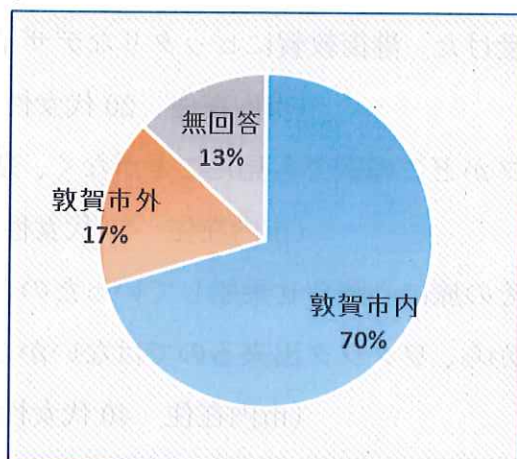
・男女比率



男性	女性	無回答	合計
422	315	65	802
52.6%	39.3%	8.1%	

男性が約 50%・女性が約 40%を占めており、若干男性の回答者が多いがほぼ同数であると言える。

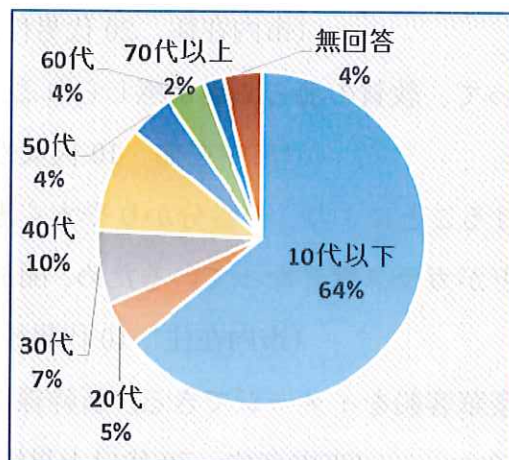
・居住地



敦賀市内	敦賀市外	無回答	合計
565	132	105	802
70.4%	16.5%	13.1%	

敦賀市内に居住している方が約 70%であった。つるが鉄道フェスティバルでは、市外の方からもデザイン案に関する意見を伺うことが出来た。

・年齢構成

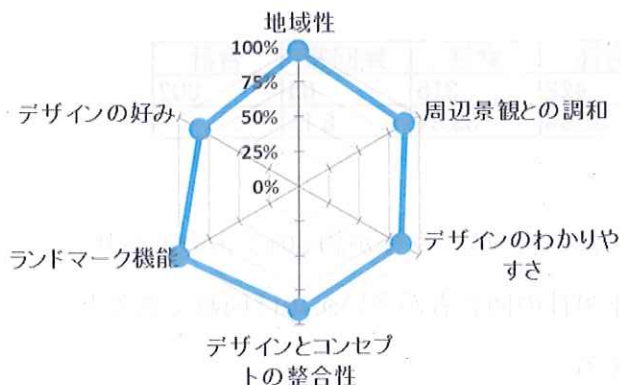


10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
514	36	58	83	35	30	16	30	802
64.1%	4.5%	7.2%	10.3%	4.4%	3.7%	2.0%	3.7%	

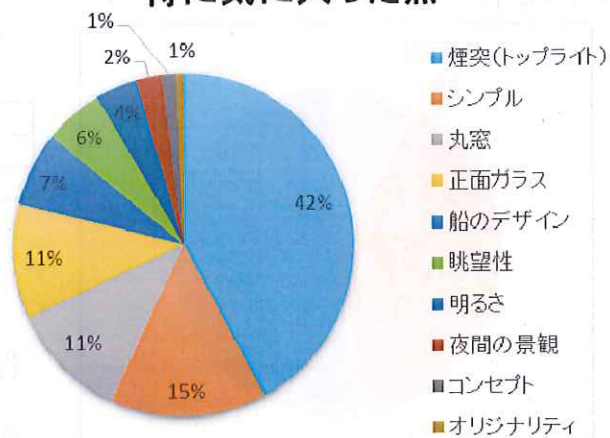
出前講座の関係で 10 代からの意見が多くなっている。20 代以上については概ねバランスよく意見をいただいている。

5 デザイン案A案の分析について

デザインの特性



特に気に入った点



○A案を支持する主な意見

- ・見てすぐに大きな船だと分かり、格好良い印象を受けた。港街敦賀にピッタリなデザインだと感じた。
(市内在住 20代女性)
- ・屋根についている、煙突をイメージしているランプがどこの駅でも見たことがなく、新鮮で良いと思う。丸い窓もかわいい。
(市内在住 20代女性)
- ・その昔の敦賀からシベリアへ向けて旅する人が、その旅に心躍らせ乗船していったのと同じように、敦賀から東京へ向けてこの駅に入る所から、ワクワク出来るのではないかと思います。
(市内在住 40代女性)
- ・他の案よりコンセプトが分かりやすく非常に良いと思う。駅全体で1つのものを表わしているので、デザインにも統一感があって印象に残りやすい。屋根上のワンポイントも、機能的でとても良いと思う。
(市内在住 20代男性)
- ・敦賀の景色を見れて綺麗だと思う。灯台とかがあって、敦賀の海らしさを感じられる。
(市内在住 10代女性)
- ・屋根に、煙突をモチーフとしたトップライトを付けることにより、一番分かりやすく港街という特色を出していると思う。上層部のほとんどがガラス窓となっているため、開放感のある印象を受ける。
(市内在住 10代男性)
- ・国際港として整ってきた敦賀港に浮かぶ、最近の豪華客船をイメージできる。新幹線に乗車される人々にも、上陸する雰囲気になれると思う。
(市内在住 70代以上男性)

○A案を支持しない主な意見

- ・船をイメージ出来るため港街敦賀のイメージだが、デザインがシンプル過ぎて印象に残らない。 (市内在住 40代男性)
- ・敦賀市民の人なら、駅の上の煙突が何をイメージしているのか分かるけど、他県の人から見たら、何か分からないような気がする。 (市内在住 10代女性)
- ・船というより工場感が強いのが第一印象。 (市内在住 30代男性)
- ・煙突6本だけが特徴的で、あとは他の駅ビルと変わらない。 (市内在住 40代男性)

○A案に対する改善等の要望点

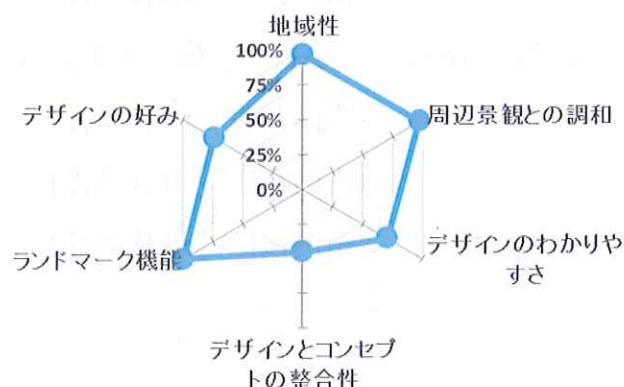
- ・もっと船の形をしないと、港街の駅とならないと思う。トップライトの高さを変える等、もう少し工夫したら良いと思う。 (市内在住 40代男性)
- ・初めてこの駅を見る人は、観光客や仕事で来る人が多いと思うので、福井駅前の恐竜のように、敦賀の有名な物を、全国に発信していかなければいけないと思う。 (市内在住 10代女性)
- ・もう少し煙突らしく、そして中にもう少し工夫があると良いなと思った。いかり等もどこかに入れるともっと船らしく面白い。 (市内在住 30代女性)

○A案まとめ

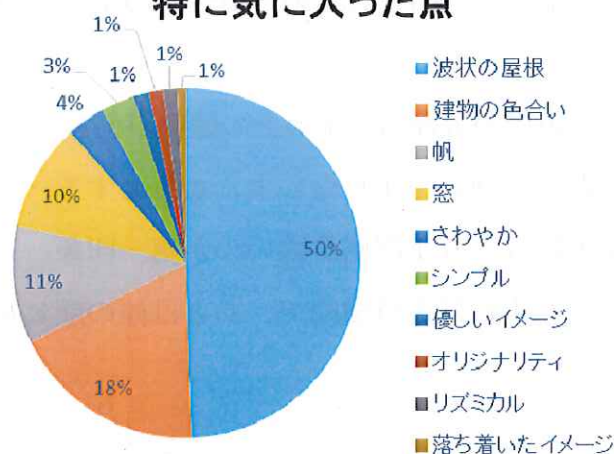
- ・A案支持の傾向として、「煙突部分」・「丸い窓」など船を模している事が、敦賀の地域性にマッチしていると考えている方が多く、好評であった。
- ・一方で、煙突部分が船というより工場のようなイメージを浮かべるといった意見や、デザインがシンプルであるためインパクトに欠けるといった意見もあった。
- ・デザインの特性として挙げた項目の中では、一番バランス良い評価がなされた案であった。

6 デザイン案B案の分析について

デザインの特性



特に気に入った点



OB案を支持する主な意見

- ・海の色や船の帆もあって、海を感じがあって良いと思った。入口の茶色も綺麗な色で良いと思った。
(市内在住 10代女性)
- ・芝生と色が合っていた。入口の茶色が良かった。屋根の波のイメージが強かった。敦賀駅周辺の街と駅が似合いそうな気がした。
(市内在住 10代女性)
- ・まず、敦賀の港街という点を屋根の波で表現しているのがとても良いと思う。1階部分と2階部分の色を、はっきりと白、黒に分けているのも、統一感があり綺麗だと思った。
(市内在住 10代男性)
- ・中央の屋根の穏やかな波をイメージしたところが、軽快感、躍動感を思わせ、敦賀の玄関口に適していると思う。
(市内在住 10代男性)
- ・波の模様が良い感じ。2階のガラス窓も斬新な感じで良い印象。
(市外在住 60代男性)
- ・北前船をイメージできる点は良いと思う。駅を訪れることで、少しでも敦賀の歴史を知ってもらえることができると嬉しい。どんどん敦賀をアピールしたい。
(市内在住 10代以下女性)
- ・茶色っぽい色が、落ち着きと、歴史を感じられた。中央の屋根が穏やかな感じがして、敦賀らしい。他案と比べて、安心感があって良かった。
(市内在住 10代以下男性)
- ・屋根の形が、海風を受け帆走するように見えた。後ろの山と屋根の形とのバランスが良かった。
(市外在住 40代女性)

OB案を支持しない主な意見

- ・北前船の帆が、どこに込められているのか伝わりにくい。駅舎だけを見て、コンセプトが伝わらなければ、市民以外には理解されにくそう。 (市内在住 30代男性)
- ・雪で埋もれてしまって、波が見えなくならないか心配。 (市内在住 10代女性)
- ・いまひとつ波のイメージが湧かない。全体的にテーマのイメージが分かりにくい。 (市内在住 50代男性)
- ・波をイメージした大屋根は、外からはあまり見えないのではないかと。ガラス窓が少なく、枠が大きくごつく感じる。 (市内在住 70代男性)

OB案に対する改善等の要望点

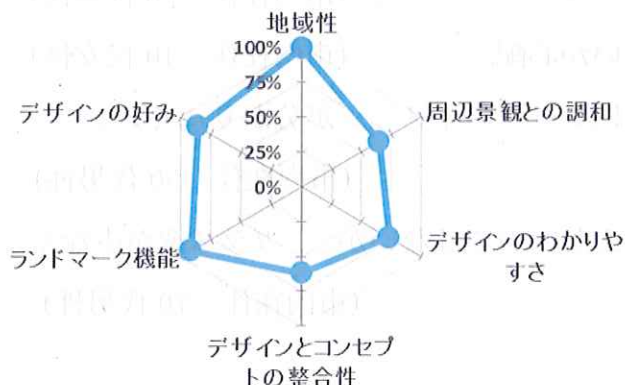
- ・北前船という着眼点は非常に良いが、無理に寄せなくても、実際に北前船を置いたら良い。 (市内在住 30代男性)
- ・帆と波のイメージはとても良いが、A案のように全体で1つのモチーフを表わすような形にした方が分かりやすいと思う。 (市内在住 20代男性)
- ・入口の所のカラーは、A案、C案でもこの色にした方が共通のテーマの浮遊感が出ると思う。 (市内在住 40代男性)
- ・地元以外の人にもイメージが伝わるように、波と帆のデザインを強調したらどうか。 (市外在住 40代男性)

OB案のまとめ

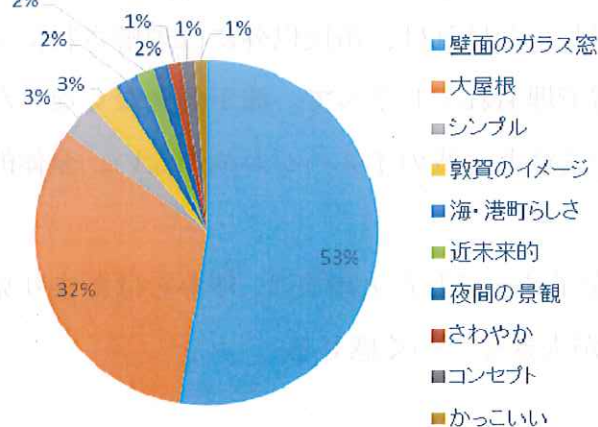
- ・入口部分に茶色を採用している事で、周辺景観とマッチし、穏やかなイメージである所が好評であった。
- ・屋根部の波のイメージについては、好みが分かれており、支持していない人については、波のデザインがわかりにくいという意見が多くあった。
- ・窓部の帆のイメージについては、北前船の帆をイメージしたというコンセプトは好評のようであるが、帆の部分を工夫しないとわかりにくいといった否定的な意見もあった。

7 デザイン案C案の分析について

デザインの特性



特に気に入った点



OC案を支持する主な意見

- ・小舟が海に浮いているように見える。この小舟が敦賀に思えて、頑張って大海を進めよと応援したくなる印象がある。海の部分の模様が爽やかできれいだったと思った。小舟のような屋根で、風流で涼しげなところが気に入った。(市内在住 20代女性)
- ・シンボルが敦賀の個性を象徴し、これからの敦賀が自らの個性をどう主張したいか、未来感があり一番良い。(市内在住 50代男性)
- ・ゆりかもめの屋根が印象的である。壁面のイメージとの違いが生きている。ゆりかもめというより船首のイメージが強く感じられる。ガラス面の変化が波のイメージとマッチしている。(市外在住 50代男性)
- ・羽を広げるゆりかもめが実際に飛び立っているように見えて格好良いし、好き嫌いの個人差がなく、敦賀の良い所をしっかりと生かしまとまった駅。(市内在住 10代女性)
- ・「空に浮かぶ」というテーマで、最もC案に合っていて良いと思う。ガラスに日が当たると、キラキラと光って綺麗だったと思った。(市内在住 10代女性)
- ・ガラス窓をランダムに配置することで、とてもユニークな印象を受ける。他の2案よりも、見ていて飽きない。興味の持てるデザインだと感じる。大屋根には力強さを感じる。(市内在住 10代男性)
- ・煌めく海を表したガラスが前に流れている木の芽川と合っている。上にあるゆりかもめの翼を表わしている大屋根が格好良い。窓の色も工夫があって綺麗と思った。(市内在住 10代女性)

〇〇案を支持しない主な意見

- ・ランダムに配置することによって圧迫感が生まれ、個人的には良いと思わない。屋根から「ゆりかもめ」と連想するのは厳しいと思う。(市内在住 20代男性)
- ・市の鳥ゆりかもめの印象は市民でも低い。外壁、屋根ともに複雑な構造で、竣工時の外観を維持するのは大変ではないか。(市内在住 70代男性)
- ・雪が積もると壊れないか心配。(市内在住 10代女性)

〇〇案に対する改善等の要望点

- ・大海のイメージであるなら、外壁に青色をもう少し使ったら良いのではないか。(市外在住 40代男性)
- ・ゆりかもめというより船に見えたので、もう少し羽の角度を付けた方が良いと思う。(市内在住 年齢不詳女性)
- ・モチーフが抽象的だったので、もう少し具体性のあるモチーフにした方が記憶に残るのではないか。せっかく高いところにあるので、もう少し屋根全体を使って表現できれば良いと思う。(市内在住 20代男性)

〇〇案のまとめ

- ・壁面のガラス窓をランダムに配置し、波の煌めきを表現した点が好評であった一方、外の眺めが見づらくはならないのかという意見もあった。
- ・中央の屋根部のユリカモメ・船首をイメージした大屋根については、かっこよい等好意的な意見とユリカモメのイメージはあまりない等否定的な意見に分かれた。
- ・デザインが好みであると回答した人が一番多い案であった。

8 各委員会からの意見

○駅周辺整備構想策定委員からの意見

- ・ A案とC案についても1階部分はB案のように茶色にしてほしい。
- ・ C案がオルパークの都会的なデザインとマッチしていると思う。
- ・ 敦賀は港の町であることから、船というのが一目でわかるA案が良い。
- ・ オルパークが窓の多い施設なので、ガラス窓の多いA案は違和感がない。
- ・ 全面ガラスで光が入り過ぎるとあまり快適ではないのではないかと感じる。
- ・ オルパークとの調和も考えた方が良いと思う。
- ・ 維持管理についても考慮する必要がある。

○新幹線対策特別委員からの意見

- ・ 個人的にはC案が良いと思う。しかし、小学生はA案を支持しており、将来を担う子供たちの意見を尊重し、決定した方が良い。
- ・ 推薦案を返すのは外観のみか。内装についても意見を言えるのか。
- ・ A, B, C案それぞれの建設費の差はあるのか。⇒ほぼ同じと回答。

9 敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会からの意見

- ・ 駅舎の入口は明るい色にした方が利用者にわかりやすく、遠くから見てバランスが良い。
- ・ 昨年度、市内外の意見を集約し要望した「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」というデザインコンセプトとの整合は、C案が一番取れている。
- ・ C案はダイナミックな感じで良い。B案の帆は、あまり活きたデザインになっていない。A案の煙突はどうかと思う。
- ・ C案の大屋根（屋根の上のウィング）は遠くから駅とすぐにわかり、ランドマークになる。（気比神宮を象徴するような）大鳥居のようにも見えるので良い。
- ・ オルパークの屋根の部分と新幹線駅舎コンコース階の濃色系の色合いがハレーションを起こしているので、駅舎とオルパークが同化しないように、少し色を明るめにして、オルパークとキャノピーが浮き出すような色合いにしたほうが良い。
- ・ 素材や色調についてはこれまでのまちづくりの流れに反しないように十分に配慮していただきたい。外観だけでなく、内部の素材やインテリアにも同様の配慮をお願いしたい。
- ・ 駅広からオルパーク、コンコースを通して、連絡通路、もう一つの新しい駅前広場まで、統一感のある連続的なデザインが続いていくと良い。

10 まとめ

デザイン案に対する賛同の多かったポイントをまとめると、A案については、特に「煙突」に対して気に入っている人が多く、夜間トップライトによる演出に期待している声が一番多かった。また、窓が広い事で、「明るい駅舎」「周囲を見渡せる」といった点や「丸い窓が良い」、「シンプルなデザインで良い」といった声が多く挙げられていた。

また、B案は、特に「波状の屋根」を気に入っているという声が一番多かった。また、「入口部分の茶色の色合いが好き」という声や「帆の部分が好き」といった声も多く挙げられている。爽やかで優しいイメージを感じる方が多かった。

C案は特に、「壁面のガラス窓で波の煌めきを表現しているところが好き」という声が一番多かった。屋根部のユリカモメ・船首のイメージも高評価であった。敦賀、港らしいイメージを感じる方、近未来的なイメージを感じる方が多かった。

アンケート全体の傾向として、船という分かりやすいデザインのA案と、煌めくデザインが好みであるという意見が多かったC案に対する賛同が多く挙がっていた。

小学生のアンケートでは、ややA案を支持する意見が多く、中学生のアンケートではC案を支持する意見が多く挙がっていた。高校生以上のアンケートでは、全体的にかなり拮抗しているものの、ややC案支持する意見が多かった。

駅周辺整備構想策定委員会では、船というのが一目でわかるA案と、オルパークの都会的なデザインとマッチしているC案、それぞれ支持する意見がでていた。

アンケート結果を踏まえた敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会では、「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」というデザインコンセプトとの整合性や、ランドマークとなる大屋根のデザイン等から、専門的にもC案を推薦案とする意見が多く挙がっていた。



